

出願書類を含む資料は、
テレメール <https://telemail.jp/?des=033551&gsn=033555> から請求してください。

出願書類の様式は、
大学院の入試 http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/nyushi_jyoho/daigakuin_nyushi.html に掲載しております。

平成 24 年 度

岩手大学大学院人文社会科学研究所 (修士課程)

学 生 募 集 要 項

一 般 入 試

社 会 人 入 試

社会人入試 (1年制コース)

日 程 表

一 般 入 試	第 1 期	出願受付期間	平成23年 7月28日(木)～ 8月 1日(月)
		試 験 日	平成23年 8月29日(月)～ 8月30日(火)
		合 格 発 表	平成23年 9月 9日(金)
	第 2 期	出願受付期間	平成24年 1月12日(木)～ 1月18日(水)
		試 験 日	平成24年 1月31日(火)～ 2月 1日(水)
		合 格 発 表	平成24年 2月15日(水)
社 会 人 入 試	第 1 期	出願受付期間	平成23年 7月28日(木)～ 8月 1日(月)
		試 験 日	平成23年 8月29日(月)
		合 格 発 表	平成23年 9月 9日(金)
	第 2 期	出願受付期間	平成24年 1月12日(木)～ 1月18日(水)
		試 験 日	平成24年 1月31日(火)
		合 格 発 表	平成24年 2月15日(水)
社 会 人 入 試 (1年制コース)		出願受付期間	平成23年 7月28日(木)～ 8月 1日(月)
		試 験 日	平成23年 8月29日(月)
		合 格 発 表	平成23年 9月 9日(金)

岩 手 大 学

目 次

I	人文社会科学研究科のアドミッション・ポリシー	1
II	一般入試	
1	募集人員	1
2	出願資格	1
3	出願手続	2
4	選抜方法	3
5	試験日時・試験場	4
6	合格者の発表	4
7	入学手続等の概要	5
8	長期履修制度	5
9	入試問題の公表	5
III	社会人入試	
1	募集人員	6
2	出願資格	6
3	出願手続	6
4	選抜方法	7
5	試験日時・試験場	8
6	合格者の発表	8
7	教育方法の特例措置等	8
8	その他	8
IV	社会人入試（1年制コース）	
1	募集人員	9
2	出願資格	9
3	出願手続	10
4	選抜方法	11
5	合格者の発表	11
6	その他	11
V	個別の出願資格審査	12
VI	個人情報の取り扱い	14
VII	障がい等を有する入学志願者との事前相談	14
VIII	電算処理カードの記入要領及び記入例	
1	記入要領	16
2	正しい書き方例	16
3	記入例	17
IX	岩手大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）案内	
1	目的	18
2	構成	18
3	履修方法及び授業科目	18
4	課程修了の認定及び学位	18
5	取得可能な資格等	18
6	授業科目一覧	19
7	教員の教育研究領域及び主な研究事項	21

I 人文社会科学研究科のアドミッション・ポリシー

岩手大学大学院人文社会科学研究科は、急速かつ広範に変動する社会、とりわけ地域社会の諸問題に対応しうる総合的視野と高度の専門的判断力を持つ人材を養成することを目的としています。

このような観点から、本研究科では、次のような資質・能力を有する人を求めます。

1. それぞれの専攻に置かれている各教育研究領域についての基礎的理解力を備え、さらに専門的能力を高めようとする意欲に満ちた人
2. 諸外国の事例に学ぶために外国語の文献を読みこなす力を備えている人
3. 人間・文化・社会の諸問題に強い関心を有する人

II 一般入試

1 募集人員

専攻名	第1期	第2期
人間科学専攻	8名	若干名
国際文化学専攻	4名	若干名
社会・環境システム専攻	4名	若干名
計	16名	若干名

注1) 本研究科では、第1期及び第2期の計2回学生募集を行います。第1期及び第2期の両方に出願することもできますが、その際はそれぞれ所定の期間に出願書類を提出する必要があります。

注2) 人間科学専攻8名のうち5名程度を臨床心理学領域に割り当てることとします。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成24年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号（大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定））
- (8) 以下の基準のいずれかを満たし、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - ① 学校教育法第83条第1項に定める大学に3年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成24年3月31日までに22歳に達するもの

※ (8)又は(9)で出願しようとする者は、12ページの「V 個別の出願資格審査」を参照してください。

3 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、郵送により提出してください。

なお、必ず速達書留とし、封筒の表に「大学院人文科学研究科出願書類等在中」と朱書きしてください。

(2) 出願書類等提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

☎019-621-6064

(3) 出願受付期間

第1期募集 平成23年7月28日(木)から8月1日(月)まで【必着】

第2期募集 平成24年1月12日(木)から1月18日(水)まで【必着】

(4) 出願書類等

入学志願票及び履歴書	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の用紙に必要事項を記入してください。 ・外国人志願者は、小学校入学時からの学歴を記入してください。
電算処理カード	<ul style="list-style-type: none"> ・16ページ以降の記入要領及び記入例をよく読み、記入してください。 ・電算処理されますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
写真票・受験票・入学検定料(振替払込受付証明書)	<ul style="list-style-type: none"> ・写真票には、写真(縦4cm×横3cm)をはってください。 ・太線枠内に、志願者本人が記入してください。 ・検定料30,000円(別途振込手数料がかかります。)を同封している所定の「払込取扱票」を使用し、必ずゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で払い込んでください(ATMは利用しないでください)。 ・払込後、受け取った「振替払込受付証明書(お客さま用)」を日附印欄の押印を確認のうえ、所定の欄にはってください。 ・日本国政府から奨学金が支給されている外国人留学生は、検定料を徴収しませんので、「国費外国人留学生証明書」を添付してください。 ・検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。
成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長(学部長)又は出身学校長が作成し厳封したもの ・証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。 ・証明書が外国語で書かれている場合は、日本語訳を添付してください。
卒業(見込)証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長(学部長)又は出身学校長が作成したもの ・証明書が外国語で書かれている場合は、日本語訳を添付してください。
学士の学位授与(申請)証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格(2)により出願する者は次のいずれかを提出してください。 <ol style="list-style-type: none"> ① 学位授与証明書 ② 学位授与申請受理証明書又は「大学評価・学位授与機構に学位授与の申請(予定)をしている。」旨が明記されている証明書(様式任意)で、出身大学等の学長(学部長)又は出身学校長が作成したもの
研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の用紙に必要事項を記入してください。
卒業論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文・研究論文・調査報告書等の研究業績を有する者は論文等(写しでも可)を提出してください。 ・論文等を作成中で提出できない者は、論文等の計画書(A4判、様式任意)を提出してください。 ・論文等及び計画書を提出しない者は、その理由を書いた理由書(A4判、様式任意)を提出してください。
卒業論文等の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文等を有する者は所定の用紙に必要事項を記入してください。
受験許可書	<ul style="list-style-type: none"> ・他の大学院に在学している者及び出願資格(8)の資格で出願する者のうち他の大学に在学している者は、所定の用紙により提出してください。
外国人登録証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人志願者は、外国人登録証明書又は外国人登録原票記載事項証明書を提出してください。
受験票送付用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の封筒にあて先を明記し、350円切手(速達料金)をはってください。
ラベル票	<ul style="list-style-type: none"> ・所定のラベル票用紙に必要事項を記入してください。
その他の書類	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格審査で認定を受けた者は、認定書の写しを提出してください。

(5) 出願書類等提出上の注意

- ① 出願書類等受理後は、いかなる理由があっても志望専攻等の記載事項の変更を認めません。
- ② 出願書類等に不備のあるものは受理しませんので、記載事項に記入漏れ、誤記入等のないよう十分注意してください。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願後、現住所等に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
- ⑤ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

4 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験及び口述試験）及び出願書類（研究計画書等）審査の結果を総合して判定します。

(1) 筆記試験

① 外国語

英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語のうちから1言語を出願時に選択してください。ただし、外国人留学生は日本語を受験してください。
なお、辞書は使用できません。

② 専門科目

次の教育研究領域のうち、一つの領域を出願時に選択してください。選択した各領域の出題科目を選択解答してください。

表

専攻	教育研究領域	出題科目	備考
人間科学専攻	臨床心理学	臨床心理学及び他1科目（隣接教育研究領域である下記、行動科学の出題科目から選択）	受験時に、臨床心理学（3問）及び隣接教育研究領域（行動科学）の1科目（1問）を選択してください。
	行動科学	基礎（実験）心理学、認知心理学、社会心理学、家族社会学、地域社会学、スポーツ社会学、人文地理学	受験時に、左記の出題科目から2科目を選択してください。
	人間情報科学	哲学、倫理学、言語学、情報科学	出願時に、左記の出題科目から1科目を選択してください。ただし、「情報科学」は、情報理論、プログラミング、コンピュータ基礎、複雑系、ニューラルネット、情報システム、情報デザイン等から出題します。
国際文化学専攻	文化システム論	テキスト分析論、文化記号論、社会文化論、表象文化論、社会文化思想論、ジェンダー文化論	受験時に、左記の6つの出題科目から各2問ずつ出題される計12問のうち3問を選択してください。
	東アジア文化論	中国思想文化学、中国語学、日本語学、日本文学、日本史学、日本思想史学	出願時に、左記の出題科目から1科目を選択してください。
	欧米言語文化論	欧米史、英米言語文化論、ドイツ言語文化論、フランス言語文化論、ロシア言語文化論	
社会・環境システム専攻	法学	政治学、憲法、民法（財産法）、民法（家族法）、商法、刑法、刑事訴訟法、西洋法制史	出願時に、左記の出題科目から1科目（研究計画書の研究テーマと最も関連が深いと思われるもの）を選択してください。
	経済	理論経済学、経済数学、国際経済論、農業経済論、社会保障論、財政学、経営学	出願時に、左記の出題科目から1科目（研究計画書の研究テーマと最も関連が深いと思われるもの）を選択してください。ただし、専門分野の論述問題と経済学についての基礎的理解を問う共通問題とを合わせて出題します。

専攻	教育研究領域	出題科目	備考
社会・環境システム専攻	環境科学	環境物理学, 環境数理, 環境化学, 化学基礎, 環境生物学, 環境思想論, 環境法政策論, 地域環境社会論, 環境経済論	出願時に, 左記の出題科目から1科目(研究計画書の研究テーマと最も関連が深いと思われるもの)を選択してください。「環境物理学」は力学基礎, 熱学基礎, 環境に関する分野から出題します。「環境数理」は4分野(統計学, 線形代数, 微分方程式, ゲーム理論)に細分されるので, その4分野から1分野を出願時に選択してください。
	地域政策	農業経済論, 財政学, 社会保障論, 政治学, 民法(財産法), 民法(家族法), 商法, 水法, 刑事訴訟法, 環境法政策論, 地域環境社会論, 環境経済論, 環境思想, 環境生物学	出願時に, 左記の出題科目から1科目(研究計画書の研究テーマと最も関連が深いと思われるもの)を選択してください。ただし, 農業経済論, 財政学, 社会保障論は, 専門分野の論述問題と経済学についての基礎的理解を問う共通問題とを合わせて出題します。

(2) 口述試験

志望する専攻の専門分野(教育研究領域)に関して行います。

5 試験日時・試験場

	期 日	時 間	科目等	試 験 場
第1期	平成23年8月29日(月)	10:00~12:00	専門科目	人文社会科学部1号館
		13:00~14:30	外国語	
	平成23年8月30日(火)	10:00~	口述試験	
第2期	平成24年1月31日(火)	10:00~12:00	専門科目	
		13:00~14:30	外国語	
	平成24年2月1日(水)	10:00~	口述試験	

注1) 試験開始20分前までに試験会場に集合してください。

注2) 試験開始時刻に遅刻した場合は, 係員の指示に従ってください。

試験開始後30分以内の遅刻に限り, 受験を認めます。ただし, 口述試験以外の受験科目等は試験時間の延長はしません。

6 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに, 合格者の受験番号を次により発表します。

第1期	平成23年9月9日(金) 13時
第2期	平成24年2月15日(水) 13時
発表方法	岩手大学事務局掲示場及び岩手大学ホームページ (http://www.iwate-u.ac.jp)

※ 可否の問い合わせには, 一切応じません。

7 入学手続等の概要

入学手続等の概要は次のとおりです。なお、詳細については、合格者に送付する入学手続関係書類で指示します。

(1) 大学納付金

区 分	金 額
入 学 料	282,000円 (予定額)
授業料 (年額)	535,800円 (予定額)

注1) 上記納付金は予定額であり、入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。

注2) 国費（日本国政府）外国人留学生の入学科及び授業料は徴収しません。

(2) 大学納付金及び学生教育研究災害傷害保険料等の納付方法並びに入学料、授業料免除の申請方法及び必要書類については、合格者に別途通知します。

8 長期履修制度

本研究科では、職業を有しているなどの事情（注1）によって、標準修業年限である2年を超えて、一定の期間（最長4年まで）にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを願い出た者には、審査の上許可することがあります。

この制度の適用学生の授業料総額は、標準修業年限（2年）で修了する学生が納める授業料総額と同額となります。

なお、この制度の申請方法等は、合格者に別途通知します。

- 注1) 該当者：① 職業を有している者（1日8時間週3日以上又は1日4時間週4日以上勤務者で6月以上の継続雇用者）
② 家事従事者又は育児にあたっている者
③ 前各号に該当しないが本人の収入で生計を維持している者
④ その他、本研究科が適当と認める者

注2) 長期履修学生のための特別なカリキュラムは、原則として用意しません。

詳細については、岩手大学学務部学務課（☎019-621-6077）まで問い合わせてください。

9 入試問題の公表

過去2年の間に出题された入試問題を公表しています。

詳細は本学ホームページを確認してください。

<http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/kaiji/kakomondai.html>

Ⅲ 社会人入試

1 募集人員

専攻名	第1期	第2期
人間科学専攻	若干名	若干名
国際文化学専攻	若干名	若干名
社会・環境システム専攻	若干名	若干名
計	若干名	若干名

注1) 本研究科では、第1期及び第2期の計2回学生募集を行います。第1期及び第2期の両方に出願することもできますが、その際はそれぞれ所定の期間に出願書類を提出する必要があります。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業し、入学時に3年以上経過する者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者で、入学時に3年以上経過するもの
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了し、入学時に3年以上経過する者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了し、入学時に3年以上経過する者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、入学時に3年以上経過する者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了し、入学時に3年以上経過する者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号（大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定））で、入学時に3年以上経過するもの
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業し入学時に3年以上経過する者と同等以上の学力があると認めた者

※ (8)で出願しようとする者は、12ページの「V 個別の出願資格審査」を参照してください。

3 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、郵送により提出してください。

なお、必ず速達書留とし、封筒の表に「大学院人文社会科学研究所社会人入試出願書類等在中」と朱書きしてください。

(2) 出願書類等提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

☎019-621-6064

(3) 出願受付期間

第1期募集 平成23年7月28日(木)から8月1日(月)まで【必着】

第2期募集 平成24年1月12日(木)から1月18日(水)まで【必着】

(4) 出願書類等

入学志願票及び履歴書	・所定の用紙に必要事項を記入してください。 ・外国人志願者は、小学校入学時からの学歴を記入してください。
電算処理カード	・16ページ以降の記入要領及び記入例をよく読み、記入してください。 ・電算処理されますので、汚したり折り曲げたりしないでください。

写真票・受験票・入学検定料(振替払込受付証明書)	<ul style="list-style-type: none"> ・写真票には、写真(縦4cm×横3cm)をはってください。 ・太線枠内に、志願者本人が記入してください。 ・検定料30,000円(別途振込手数料がかかります。)を同封している所定の「払込取扱票」を使用し、必ずゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で払い込んでください(ATMは利用しないでください)。 ・払込後、受け取った「振替払込受付証明書(お客さま用)」を日附印欄の押印を確認のうえ、所定の欄にはってください。 ・日本国政府から奨学金が支給されている外国人留学生は、検定料を徴収しませんので、「国費外国人留学生証明書」を添付してください。 ・検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。
成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長(学部長)又は出身学校長が作成し厳封したもの ・証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。 ・証明書が外国語で書かれている場合は、日本語訳を添付してください。
学士の学位授与証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格(2)により出願する者は、提出してください。
卒業証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長(学部長)又は出身学校長が作成したもの ・証明書が外国語で書かれている場合は、日本語訳を添付してください。
研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の用紙に必要事項を記入してください。
卒業論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文・研究論文・調査報告書等の研究業績を有する者は論文等(写しでも可)を提出してください。卒論等を提出しない者はその理由をA4判用紙に記入し提出してください(様式任意)。
卒業論文等の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の用紙に必要事項を記入してください。
外国人登録証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人志願者は、外国人登録証明書又は外国人登録原票記載事項証明書を提出してください。
受験票送付用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の封筒にあて先を明記し、350円切手(速達料金)をはってください。
ラベル票	<ul style="list-style-type: none"> ・所定のラベル票用紙に必要事項を記入してください。
その他の書類	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格審査で認定を受けた者は、認定書の写しを提出してください。

(5) 出願書類等提出上の注意

- ① 出願書類等受理後は、いかなる理由があっても志望専攻等の記載事項の変更を認めません。
- ② 出願書類等に不備のあるものは受理しませんので、記載事項に記入漏れ、誤記入等のないよう十分注意してください。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願後、現住所等に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
- ⑤ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

4 選抜方法

学力検査(筆記試験及び口述試験)及び出願書類(研究計画書等)審査の結果を総合して判定します。

(1) 筆記試験

① 外国語

受験を要しません。(外国語試験の受験を希望する者は、一般入試で受験することができます。)ただし、外国人志願者は、日本語を受験してください。なお、辞書は使用できません。

② 専門科目

3～4ページに示す表の教育研究領域のうち、一つの領域を出願時に選択してください。選択した各領域の出題科目を選択解答してください。

(2) 口述試験

志望する専攻の専門分野(教育研究領域)に関して行います。

5 試験日時・試験場

	期 日	時 間	科 目 等	試 験 場
第 1 期	平成23年 8 月29日(月)	10：00～12：00	専門科目	人文社会科学部 1 号館
		13：00～	口述試験	
第 2 期	平成24年 1 月31日(火)	10：00～12：00	専門科目	
		13：00～	口述試験	

注 1) 試験開始20分前までに試験会場に集合してください。

注 2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。

試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、口述試験以外の受験科目等は試験時間の延長はしません。

6 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を次により発表します。

第 1 期	平成23年 9 月 9 日(金) 13時
第 2 期	平成24年 2 月15日(水) 13時
発表方法	岩手大学事務局掲示場及び岩手大学ホームページ (http://www.iwate-u.ac.jp)

※ 可否の問い合わせには、一切応じません。

7 教育方法の特例措置等

(1) 本研究科は、大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例を適用して、社会人に門戸を開放しています。このために、

通常の授業時間帯

[月曜日～金曜日, 1－2校時～9－10校時 (8：40～18：00)] のほかに、

特例による授業時間帯

[月曜日～金曜日, 10－11校時 (17：15～18：45)

11－12校時 (18：10～19：40)] を設けています。

なお、事情によっては、土曜日と夏季休業中等にも研究指導を行う場合があります。

(2) 修業年限の2年を超えて4年まで履修することができる長期履修制度があります。(5ページ参照)

8 その他

「入学手続等の概要」, 「長期履修制度」及び「入試問題の公表」については、「Ⅱ 一般入試」5ページを参照してください。

Ⅳ 社会人入試（1年制コース）

本研究科1年制コースは、専門的能力の向上、職務上の課題解決等、職務と関連した研究を行うため、企業・自治体・各種団体等から派遣された者や社会人のリカレント教育の需要に応えるためのコースで、明確な研究目的と研究計画を有する者を対象とします。本コース合格者は、昼間と夜間に開講される講義・演習を履修することで、一年間で修士課程修了に必要な単位を修得することができます。さらに、入学時から指導教員による修士論文（または特定課題研究）作成指導を受け、審査に合格すれば、一年間で修士課程を修了することができます。

1 募集人員

専攻名	募集人員
社会・環境システム専攻	若干名

2 出願資格

(1) 次の各号のいずれかに該当し、かつ(2)に該当する者

- ① 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により、独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号（大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定））
- ⑧ 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成24年3月31日までに22歳に達するもの（12ページの「V 個別の出願資格審査」参照）

(2) 社会人（入学時点において、大学等を卒業後2年以上の勤務経験等を有する者）で昼夜受講が可能な者で、次の各号のいずれかに該当するもの

- ① 大学等を卒業（修了）後又は学士の学位取得後、5年以上の勤務経験等を有する者
- ② 官庁・企業・団体から推薦を受けた者
- ③ 次の国家資格のうちいずれかを有する者

法曹資格、司法書士、行政書士、公認会計士、税理士、弁理士、社会保険労務士、土地家屋調査士、不動産鑑定士、宅地建物取引主任者、保健師、環境計量士、公害防止管理者

注1) 勤務経験等には、ボランティア活動等の報酬を得ない活動経験を含みます。

注2) 外国人の場合は、入学時点において2年以上の日本在留経験を有し、次のいずれかに該当することとします。

- ① 平成21年以降に財団法人日本国際教育支援協会又は独立行政法人国際交流基金が実施した日本語能力試験1級に合格した者
- ② 平成21年11月以降に独立行政法人日本学生支援機構が実施した日本留学試験において、日本語科目の成績が230点以上の者（平成22年6月から実施された改定後の日本留学試験においても、日本語科目の成績が230点以上の者とする。）

3 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、次の出願書類等を取りそろえ、郵送により提出してください。

なお、必ず速達書留とし、封筒の表に「大学院人文社会科学研究所出願書類等在中」と朱書きしてください。

(2) 出願書類等提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

(3) 出願受付期間

平成23年7月28日(木)から8月1日(月)まで【必着】

(4) 出願書類等

入学志願票, 履歴書	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の用紙に必要事項を記入してください。 ・外国人志願者は、小学校入学時からの学歴を記入してください。
電算処理カード	<ul style="list-style-type: none"> ・16ページ以降の記入要領及び記入例をよく読み、記入してください。 ・電算処理されますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
写真票・受験票・入学検定料(振替払込受付証明書)	<ul style="list-style-type: none"> ・写真票には、写真(縦4cm×横3cm)をはってください。 ・太線枠内に、志願者本人が記入してください。 ・検定料30,000円(別途振込手数料がかかります。)を同封している所定の「払込取扱票」を使用し、必ずゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で払い込んでください(ATMは利用しないでください)。 ・払込後、受け取った「振替払込受付証明書(お客さま用)」を日附印欄の押印を確認のうえ、所定の欄にはってください。 ・検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。 ・日本国政府から奨学金が支給されている外国人留学生は、検定料を徴収しませんので、「国費外国人留学生証明書」を添付してください。
成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長(学部長)又は出身学校長が作成し厳封したもの。ただし、証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。
学士の学位授与証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格(1)の②で出願する者は、提出してください。
卒業(修了)証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長(学部長)又は出身学校長が作成したもの
出願理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の用紙に必要事項を記入してください。
研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の用紙に必要事項を記入してください。
推薦書	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格(2)の②で出願する者は、勤務先の所属長又はそれに準ずる者が作成し、厳封したものを提出してください(様式任意)。
国家資格を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格(2)の③で出願する者は、当該資格を証明する書類の写しを提出してください。
外国人登録証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人志願者は、外国人登録証明書又は外国人登録原票記載事項証明書を提出してください。
日本語能力試験1級の証明書又は日本留学試験の成績通知書の写し	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人志願者は、平成21年以降に実施された日本語能力試験1級の「認定結果及び成績に関する証明書」又は平成21年11月以降に実施された日本留学試験の成績通知書の写しを提出してください。
受験票送付用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の封筒にあて先を明記し、350円切手(速達料金)をはってください。
ラベル票	<ul style="list-style-type: none"> ・所定のラベル票用紙に必要事項を記入してください。
その他の書類	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格審査で認定を受けた者は、認定書の写しを提出してください。

※ 証明書等が外国語で書かれている場合は、日本語訳を添付してください。

4 選抜方法

学力検査（筆記試験及び口述試験）及び出願書類（研究計画書等）審査の結果を総合して判定します。

(1) 筆記試験（専門科目）

次の教育研究領域のうち、一つの領域を出願時に選択し、選択した領域の出題科目を選択解答してください。

専攻	教育研究領域	出題科目	備考
社会・環境システム専攻	法学	政治学，憲法，民法（財産法），民法（家族法），商法，刑法，刑事訴訟法	出願時に左記の出題科目から1科目（研究計画書の研究テーマと最も関連が深いと思われるもの）を選択してください。
	経済	農業経済論，財政学	
	環境科学	環境法政策論，地域環境社会論，環境経済論	
	地域政策	農業経済論，財政学，政治学，民法（財産法），民法（家族法），商法，水法，刑事訴訟法，環境法政策論，地域環境社会論，環境経済論	

(2) 口述試験

志望する専攻の専門分野（教育研究領域）に関して行います。

(3) 試験日時・試験場

期 日	時 間	科 目 等	試 験 場
平成23年8月29日(月)	10:00~12:00	専 門 科 目	人文社会科学部
	13:00~	口 述 試 験	

注1) 試験開始20分前までに試験会場に集合してください。

注2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。

試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、専門科目の試験時間の延長はしません。

(5) 出願書類等提出上の注意

- ① 出願書類等受理後は、いかなる理由があっても志望専攻等の記載事項の変更を認めません。
 - ② 出願書類等に不備のあるものは受理しませんので、記載事項に記入もれ、誤記入等のないよう十分注意してください。
 - ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
 - ④ 出願後、現住所等に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
 - ⑤ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ※ 出願に先立って、履修内容や開講形態等について問い合わせがある場合は、当該教育研究領域の教員に相談してください。

なお、該当する教員の連絡先については、岩手大学学務部入試課に問い合わせてください。

5 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を次により発表します。

日 時	平成23年9月9日(金) 13時
発表方法	岩手大学事務局掲示場及び岩手大学ホームページ (http://www.iwate-u.ac.jp)

※ 合否の問い合わせには、一切応じません。

6 その他

「入学手続等の概要」及び「入試問題の公表」については、「Ⅱ 一般入試」5ページを参照してください。また、「教育方法の特例措置等」については、「Ⅲ 社会人入試」8ページを参照してください。

V 個別の出願資格審査

「Ⅱ 一般入試」「2 出願資格」の(8)、(9)及び「Ⅲ 社会人入試」「2 出願資格」の(8)及び「Ⅳ 社会人入試（1年生コース）」「2 出願資格」(1)の⑧により出願しようとする者については、次のとおり事前審査を行います。

1 「Ⅱ 一般入試」「2 出願資格」の(8)①に該当する者は、次の条件を満たす者としてします。

(1) 在学期間

平成24年3月末において、大学在学期間が3年間に達すること。

なお、休学期間は、在学期間に含まないものとします。

(2) 修得単位及び学業成績

① 在籍大学において定められた卒業単位の4分の3以上の単位を修得し又は修得する見込みである者

② 修得単位の10分の9以上が点数評価に換算し100分の80以上の成績を得た者

入学試験に合格した後に、上記(1)及び(2)に定める在学期間を満たさない場合、所定の単位を得られない場合又は平成24年3月末における学業成績が所定の成績を満たさない場合には、入学を許可しません。

(3) 提出書類

① 出願資格認定申請書（所定の用紙）

② 出願理由書

③ 出身大学の入学年月日が記載されている在学証明書又は在学期間証明書

④ 成績証明書（厳封されたもの）

⑤ 履修基準がわかる書類（岩手大学在学者は不要）

⑥ その他（必要により提出を求める書類）

※ 出願資格認定申請書は、岩手大学学務部入試課まで請求してください。

(4) 注意事項

「Ⅱ 一般入試」「2 出願資格」の(8)①により入学する場合は、学部学生の身分を有することはできず、学部を退学して大学院に入学することとなります。したがって、大学の学部卒業を要件としている各種の資格試験は受験できなくなります。

2 「Ⅱ 一般入試」「2 出願資格」の(8)②、③及び④に該当する者は、次の条件を満たす者としてします。

(1) 修得単位及び学業成績

① 在籍大学において定められた卒業単位の4分の3以上の単位を修得し又は修得する見込みである者

② 修得単位の10分の9以上が点数評価に換算し100分の80以上の成績を得た者

入学試験に合格した後に、上記に定める所定の単位を得られない場合又は試験実施年度末における学業成績が所定の成績を満たさない場合には、入学を許可しません。

(2) 提出書類

① 出願資格認定申請書（所定の用紙）

② 出願理由書

③ 出身大学の入学年月日が記載されている在学証明書又は在学期間証明書

④ 成績証明書（厳封されたもの）

⑤ 履修基準がわかる書類

⑥ その他（必要により提出を求める書類）

※ 出願資格認定申請書は、岩手大学学務部入試課まで請求してください。

(3) 注意事項

「Ⅱ 一般入試」「2 出願資格」の(8)②、③及び④により入学する場合は、学部学生の身分を有することはできず、学部を退学して大学院に入学することとなります。よって、大学の学部卒業を要件としている各種の資格試験は受験できなくなります。

3 「Ⅱ 一般入試」「2 出願資格」の(9)及び「Ⅲ 社会人入試」「2 出願資格」の(8)に該当する者は、主に短期大学、高等専門学校、専修学校の卒業生等、大学の卒業資格を有していない者又は大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者です。

なお、大学教育終了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者については、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上）研究に従事しており、平成24年3月31日までに22歳に達する者とします。

(1) 提出書類

- ① 出願資格認定申請書（所定の用紙）
- ② 最終出身学校の卒業証明書
- ③ 最終出身学校の成績証明書（厳封されたもの）
- ④ 研究歴を証明する書類
 - (ア) 研究業績書（発表した著書、学術論文、学術報告及び学術発表等について年代順に記述したもの）
 - (イ) 研究成果資料（発表した著書、学術論文、学術報告及び学術発表等についての概要。A4判2,000字程度）
 - (ウ) 在職証明書（在職中の職務内容について所属長が証明したもの）
 - (エ) その他（必要により提出を求める書類）

※ 出願資格認定申請書は、岩手大学学務部入試課まで請求してください。

4 「Ⅳ 社会人入試（1年制コース）」「2 出願資格」(1)の⑧で出願しようとする者は、次の書類を提出してください。

(1) 提出書類

- ① 出願資格認定申請書（A4判用紙に任意の形式で事前審査を希望する旨記載し、署名・捺印したもの）
- ② 履歴書（学歴については、初等教育から最終教育までの入学・卒業年月日を明記したもの）
- ③ 最終出身学校の卒業証明書
- ④ 最終出身学校の成績証明書（出身学校長が作成し厳封したもの）
- ⑤ 研究歴を証明する書類
 - ア 研究業績書（発表した著書、学術論文、学術報告及び学術発表等について年代順に記述したもの）
 - イ 研究成果資料（発表した著書、学術論文、学術報告及び学術発表についての概要。A4判2,000字程度）
 - ウ 在職証明書（在職中の職務内容について所属長が証明したもの）

5 提出期間等

郵送により提出してください。

なお、必ず速達書留とし、封筒の表に「大学院人文社会科学研究所出願資格審査希望」と朱書きしてください。

- (1) 提出期間：第1期募集及び1年制コース 平成23年7月11日(月)から7月13日(水)まで【必着】
第2期募集 平成23年12月5日(月)から12月7日(水)まで【必着】

- (2) 提出先：〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8
岩手大学学務部入試課（☎019-621-6064）

- (3) 審査結果は、第1期募集及び1年制コースは7月22日(金)まで、第2期募集は12月16日(金)までに本人あてに通知します。

なお、認定された者は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

Ⅵ 個人情報取り扱い

出願書類に記載されている氏名、性別、住所その他の個人情報（入試成績に関する情報を含む。）は、本学において、入学試験の実施・入学手続、入学者の受入準備、奨学金等の制度の運用、統計資料等の作成及び入試に関する調査・研究に利用します。

また、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、本人又は第三者の権利利益を不当に侵害するおそれがない場合に限り、提供することがあります。

- (1) 本人の同意があるとき、又は本人に提供するとき。
- (2) 行政機関（行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律第2条第1項に規定する行政機関）、他の独立行政法人等、地方公共団体又は地方独立行政法人に提供する場合において、提供を受ける者が、法令の定める事務又は業務の遂行に必要な限度で提供に係る個人情報を利用し、かつ、利用について相当な理由のあるとき。
- (3) 統計の作成又は学術研究の目的のために他の機関に提供するとき。
- (4) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合、個人情報の提供が必要なとき。
（なお、この場合には、個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の事項を明記のうえ契約します。）

Ⅶ 障がい等を有する入学志願者との事前相談

本研究科に入学を志願する者で、障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、第1期募集と1年制コースは7月13日(水)まで、第2期募集は12月7日(水)までに、「事前相談について」（次ページ様式参照）を提出してください。

なお、必要により、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う場合があります。

提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

平成 年 月 日

岩手大学長 殿

氏名
(志願者との関係)
住所
電話 - -

事前相談について

下記により事前に相談したいので、関係書類を添えて提出します。

記

1 志願者氏名等

ふりがな 氏名	男・女	生年月日	昭和 平成	年	月	日生
現住所	〒 -		電話	-	-	
出身学校名			電話	-	-	

2 志望研究科等名

研究科・専攻	研究科	専攻
--------	-----	----

3 障がいの種類・程度

4 受験上特別な配慮を希望する事項・内容

5 修学上特別な配慮を希望する事項・内容

6 出身学校在学中にとられていた特別な措置

7 日常生活の状況

8 添付書類

- (1) 健康診断書
- (2) その他

注1 出身学校関係者等が記入願います。

注2 6の「出身学校在学中にとられていた特別な措置」については、詳細に記入願います。

注3 本用紙に書ききれない場合には、適宜別紙に記入してもかまいません。

注4 健康診断書等の書類は、必ず添付願います。

注5 ※欄には記入しないでください。

※ 大学記入欄

VIII 電算処理カードの記入要領及び記入例

1 記入要領

- (1) 電算処理カードは、次の要領で記入してください。
 - ① 「大学記入欄」には記入しないでください。
 - ② 5. 本人の状況欄の「進学」とは、大学等の卒業見込の者が該当します。
 - ③ 電算処理カードの3. 4. 5. 6. 7. 9. 10の欄の□の部分には、下記の「正しい書き方例」にならって丁寧に英数字を記入してください。
 - ④ 漢字は正しく楷書で、記入してください。
- (2) 電算処理カードは、必ずHBのシャープペンシル（0.5mmしん）で濃く丁寧に記入してください。
- (3) 間違って記入した場合は、プラスチック消しゴムで丁寧に消してから書き直してください。
- (4) 電算処理カードは、絶対に折り曲げたり汚したりしないでください。

2 正しい書き方例

正しい書き方例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H J K L M N P Q
R S T U X Y Z

個々の注意点（○印の部分は、特に注意してください。）

0	輪を大きく円にしない	○, ○	等は不可	5	縦線を突き出す	5, 5	等は不可
1	垂直にまっすぐに	/, 1	等は不可	6	線を長く輪はつなく	6, 6	等は不可
2	下の横線を真横に	2, 2	等は不可	7	カギをつけ脚は垂直に	>, 7	等は不可
3	中央を突き出す	3, 3	等は不可	8	交点をXに下の円を大きく	8, 8	等は不可
4	線は十分長く	4, 4	等は不可	9	輪はつなぎ縦線は長くのばす	9, 9	等は不可

電算処理カード(大学院選抜用)

HBのシャープペンシル(0.5mmしん)で記入してください。

1. 受験番号(大学記入欄)

2. 氏名(丁寧に記入し、姓と名の間を1マスあける。)

(漢字) 岩 大 一 郎 (カナ) カ ン タ イ イ チ ロ ウ

3. 国籍・性別(コード番号を記入してください。)

日本 … 1 男 ・ 2 女 ^{コード}
外国 … 3 男 ・ 4 女

4. 選抜区分(コード番号で記入してください。)

一般 … 1, 推薦 … 2, 社会人入試 … 3, 外国人入試 … 4

コード
 3

5. 本人の状況

進学 … 1, 社会人有職 … 2, 社会人無職 … 3,
教育委員会等派遣 … 4, 外国人 … 5, その他 … 6コード
 2

6. 学籍番号(岩手大学在学学生のみ現在の学籍番号を記入してください。)

6の学籍番号を記入した者は、以下の事項を記入する必要はありません。

7. 生年月日

西暦 1 9 8 9 年 0 6 月 0 2 日生

8. 出身学校等名(略さないで名称を漢字で記入してください。)

学校等名 花 巻 大 学 学部名 人 文 学 部

9. 学校種別(コード番号で記入してください。)

本学 … 1, 他大学 … 2, 外国の学校 … 5, その他 … 6

コード
 2

10. 卒業・修了(見込)年月

西暦 2 0 1 2 年 0 3 月 卒業・修了(見込) … 1, 卒業・修了 … 2コード
 1

11. 本国籍名(漢字またはカナで正しく記入してください。)

本国籍名 岩 手 県

12. 国費等留学生(大学記入欄)

コード

Ⅸ 岩手大学大学院人文社会科学研究科（修士課程）案内

1 目的

本研究科は、自然科学との密接な関連のもとに人文科学・社会科学の総合的な教育・研究を行うために創設された人文社会科学部を母体として、より高度の学際的・総合的な人文社会科学のための教育研究体制を編成し、これによって急速かつ広範に変動する社会、とりわけ地域社会の諸問題に対応しうる総合的視野と高度の専門的判断力をもつ人材を養成することを目的としています。

学問研究や社会の今日的動向を踏まえ、現在では3専攻（人間科学専攻、国際文化学専攻、社会・環境システム専攻）を開設しています。このうち、人間科学専攻に開設されている臨床心理学領域は日本臨床心理士資格認定協会の指定する指定大学院（第2種）として、将来の臨床心理士を目指す人材を養成します。

なお、本研究科はリカレント教育の重要性に鑑み、昼夜開講制や長期履修制度を採用して、社会人への門戸を拡げています。（ただし、長期履修制度は1年制コースには適用されません。）

2 構成

本研究科には、次の3専攻が置かれています。（1年制コースは「社会・環境システム専攻」のみ）

- (1) 人間科学専攻
臨床心理学，行動科学，人間情報科学
- (2) 国際文化学専攻
文化システム論，東アジア文化論，欧米言語文化論
- (3) 社会・環境システム専攻
法学，経済，環境科学，地域政策

3 履修方法及び授業科目

学生は、各自の専攻において、設定された教育研究領域のうちいずれかを選択します。

各教育研究領域は、それ自体で体系的な専門研究分野をなすとともに、学生がそれを軸にして他の教育研究領域の授業科目をもあわせて選択履修することにより学際的・総合的研究ができるように設定されています。

なお、学生は、入学時に教育研究領域と研究テーマを確認し、指導教員（複数）の指導により、後掲の授業科目のうちから選択履修します。

4 課程修了の認定及び学位

本研究科に所定の年限以上在学し、所定の必修科目、選択必修科目、選択科目を合わせて30単位以上を修得し、かつ、修士論文（1年制コースの場合は、課題研究で修士論文に代えることができます。）の審査及び最終試験に合格した者には、修士（学術）の学位が授与されます。

（参考）大学院の科目等履修生として修得した単位は、上記30単位に含めることもできます。

5 取得可能な資格等

(1) 教育職員免許状

既に、中学校教諭1種免許状（英語，ドイツ語，フランス語，国語，社会）又は、高等学校教諭1種免許状（英語，ドイツ語，フランス語，国語，地理歴史，公民）を有している者は、本研究科において所定の単位を修得すれば、当該教科に係る専修免許状（中学校，高等学校）を取得することができます。

専攻	教育職員免許状の種類	免許の教科
人間科学専攻	中学校教諭専修免許状	社会
	高等学校教諭専修免許状	公民
国際文化学専攻	中学校教諭専修免許状	英語，ドイツ語，フランス語，国語，社会
	高等学校教諭専修免許状	英語，ドイツ語，フランス語，国語，地理歴史
社会・環境システム専攻	中学校教諭専修免許状	社会
	高等学校教諭専修免許状	公民

(2) 臨床心理士受験資格

人間科学専攻・臨床心理学領域は、財団法人日本臨床心理士資格認定協会から第2種の指定大学院の認可を受けています。このことにより、臨床心理学領域の入学生は大学院修了後1年間の心理臨床経験をえた上で、臨床心理士の受験資格を得ることができます。

なお、臨床心理学領域ではない他領域の入学者が入学後に臨床心理学領域へ転入することはできませんので、将来臨床心理士を目指す学生は必ず臨床心理学領域で受験してください。

6 授業科目一覧

(平成23年4月1日現在)

専攻	教育研究領域	授 業 科 目
人間 学 専 攻	研究科共通科目	サステナビリティ論 (ウエルビーイング論, アカデミック・ジャパニーズ, 持続可能な社会特論)
	総合演習	人間科学総合演習
	臨床心理学 教育研究領域	臨床心理学特論 臨床心理面接特論 心理学研究法特論 心理統計法特論 人格心理学特論 認知心理学特論 神経生理学特論 社会心理学特論 人間関係特論 精神医学特論 障害児心理学特論 投映法特論 学校臨床心理学特論 心理療法特論 (認知リハビリテーション) 臨床心理査定演習 臨床心理基礎実習 臨床心理実習
	行動科学 教育研究領域	認知心理学特論 人間関係特論 社会心理学特論 ◎家族社会学特論 ◎地域社会論特論 ◎スポーツ社会学特論 ◎人文地理学特論 認知心理学特別演習 社会心理学特別演習 ◎家族社会学特別演習 ◎地域社会論特別演習 ◎スポーツ社会学特別演習 ◎人文地理学特別演習
	人間情報科学 教育研究領域	人間学特論 応用倫理学特論 言語学特論 人間情報処理論特論 情報システム論特論 生命・社会情報論特論 人間学特別演習 応用倫理学特別演習 言語学特別演習 人間情報処理論特別演習 情報システム論特別演習 生命・社会情報論特別演習
		特別研究指導
国 際 文 学 専 攻	研究科共通科目	サステナビリティ論 (ウエルビーイング論, アカデミック・ジャパニーズ, 持続可能な社会特論)
	総合演習	国際文化学演習
	文化システム論 教育研究領域	テキスト分析論特論 文化記号論特論 社会文化論特論 表象文化論特論 社会文化思想論特論 文化領域論特論 メディア文化論特論 ジェンダー文化論特論 テキスト分析論特別演習 文化記号論特別演習 社会文化論特別演習 表象文化論特別演習 社会文化思想論特別演習 文化領域論特別演習 メディア文化論特別演習 ジェンダー文化論特別演習 文化論コロキウム実習
	東アジア文化論 教育研究領域	中国思想文化学特論 中国語学特論 日本語学特論 日本文学特論 日本史学特論 日本思想史学特論 日本語・日本事情特論 中国思想文化学特別演習 中国語学特別演習 日本語学特別演習 日本文学特別演習 日本史学特別演習 日本思想史学特別演習
	欧米言語文化論 教育研究領域	欧米史学特論 アカデミック・イングリッシュ 英米文学特論 英米文化論特論 英語学特論 英語習得論特論 英語コミュニケーション特論 ドイツ文学特論 欧米史学特別演習 英米文学特別演習 英米文化論特別演習 英語学特別演習 英語習得論特別演習 英語コミュニケーション特別演習 ドイツ文学特別演習 ドイツ文化論特別演習

専攻	教育研究領域	授 業 科 目	
国際文化学専攻	欧米言語文化論 教育研究領域	ドイツ文化論特論 ドイツ語学特論 フランス文学特論 フランス文化論特論 フランス語学特論 ロシア文学特論 ロシア文化論特論 ロシア語学特論 特別研究指導	ドイツ語学特別演習 フランス文学特別演習 フランス文化論特別演習 フランス語学特別演習 ロシア文学特別演習 ロシア文化論特別演習 ロシア語学特別演習
		研究科共通科目 総合演習	サステイナビリティ論（ウエルビーイング論，アカデミック・ジャパニーズ，持続可能な社会特論） 社会・環境総合演習
社会・環境システム専攻	法 学 教育研究領域	政治学特論 憲法特論 行政法特論 財産法基礎特論 財産法発展特論 商法特論 家族法特論 刑法特論 刑事訴訟法特論 知的財産法特論	政治学特別演習 憲法特別演習 行政法特別演習 財産法基礎特別演習 財産法発展特別演習 商法特別演習 家族法特別演習 刑法特別演習 刑事訴訟法特別演習 知的財産法特別演習
		理論経済学特論 政治経済学特論 経済数学特論 国際経済論特論 農業経済論特論 社会保障論特論 財政学特論 経営学特論 会計学特論	理論経済学特別演習 政治経済学特別演習 経済数学特別演習 国際経済論特別演習 農業経済論特別演習 社会保障論特別演習 財政学特別演習 経営学特別演習 会計学特別演習
	環 境 科 学 教育研究領域	環境数理特論（モデリングおよび快適性） 環境数理特論（ゲーム理論） 自然環境システム論特論 環境化学特論 水環境生態論特論 景観植生論特論 環境法政策特論 環境経済論特論 地域環境社会論特論 環境思想特論 環境数理特別演習（モデリングおよび快適性）	環境数理特別演習（ゲーム理論） 自然環境システム論特別演習 環境生理学特別演習 環境光化学特別演習 環境計測学特別演習 水環境生態論特別演習 景観植生論特別演習 環境法政策特別演習 環境経済論特別演習 地域環境社会論特別演習 環境思想特別演習
		農業経済論特論 社会保障論特論 財政学特論 政治学特論 行政法特論 水資源・環境政策特論 財産法基礎特論 家族法特論 知的財産法特論 商法特論 環境法政策特論 環境経済論特論 地域環境社会論特論 環境思想特論 水環境生態論特論	農業経済論特別演習 社会保障論特別演習 財政学特別演習 政治学特別演習 行政法特別演習 水資源・環境政策演習 財産法基礎特別演習 家族法特別演習 知的財産法特別演習 商法特別演習 環境法政策特別演習 環境経済論特別演習 地域環境社会論特別演習 環境思想特別演習 水環境生態論特別演習
地 域 政 策 教育研究領域	特別研究指導 ※特別研究		

◎印の科目は，社会・環境システム専攻（1年制コース）の連携科目

※は1年制コースの特別研究

7 教員の教育研究領域及び主な研究事項
 人文社会科学研究科長 教授 牧 陽之助

(平成23年4月1日現在)

専攻	教育研究領域	職 位	学 位	氏 名	主 な 研 究 事 項
人 間 科 学 専 攻	臨床心理学	准教授	文学修士	織 田 信 男	日記療法, 写真投影法の基礎的研究, 来談行動の規定因研究
		教 授	文学修士	山 口 浩	PIL (Purpose-in-Life) テストによる人生の実存的側面の研究(ロゴセラピー, 心理検査), 心身機能のセルフコントロールの研究
		准教授	博士(教育学)	佐 藤 正 恵	ADHDや広汎性発達障害を持つ子どもの発達研究, ソーシャル・スキルや集団心理療法, 保護者に対する心理療法の効果に関する研究
		准教授	文学修士	早 坂 浩 志	学生相談に関する研究, 青年期の心理教育に関する研究, ブリーフサイコセラピーに関する研究
	行動科学	教 授	文学修士	松 岡 和 生	心的イメージの認知心理学的研究
		教 授	文学修士	竹 村 祥 子	家族理論研究, 家族に直接関与する地域集団等に関する実証的研究
		准教授	修士(社会学)	小野澤 章 子	地域社会学, 現代日本の地域社会研究, 社会調査
		教 授	教育学修士	浅 沼 道 成	総合型地域スポーツクラブに関する研究, スポーツ支援システムに関する研究
		教 授	理学修士	高 橋 宏 一	小売業及び卸売業からみた都市システム, 南部曲家研究
	人間情報科学	准教授	博士(文学)	音喜多 信 博	現代ドイツ語圏・フランス語圏の哲学的人間学の研究, 現象学研究, 生命倫理学研究
		教 授	文学修士	北 村 一 親	ロマンス諸言語の文献学的比較研究, 諸言語の実験音声学的研究, 言語境界における言語接触の研究, キルト研究, キリシタン研究
		教 授	工学博士	白 倉 孝 行	スピングラスの相転移と動的応答, ニューラルネットワークのシミュレーション, シミュレーションの高速化技法の開発
		教 授	歯学博士	遠 藤 教 昭	情報システム学, WWWとデータベース
		准教授	博士(理学)	五 味 壮 平	情報デザイン, 生命活動に関連する多様な情報(データ)の特性解析, 生物系のシミュレーション
	国 際 文 化 学 専 攻	文化システム論	教 授	文学修士	後 藤 尚 人
教 授			文学修士	山 本 昭 彦	ボードレールと19世紀の芸術批評, 永井荷風, 宮沢賢治, ユートピアの表象
教 授			文学修士	池 田 成 一	ヘーゲルの思想形成過程の研究, ヘーゲルに影響を与えた18世紀英仏思想研究, ハーバーマスを中心とした現代欧米思想の研究, 近代岩手の思想史
准教授			博士(学術)	海 妻 径 子	近代日本における父性論の歴史的展開, 男性性研究の理論と方法, ジェンダーをめぐっての現代日本の諸課題
東アジア文化論		教 授	文学博士	※砂 山 稔	隋唐宋元道教思想史研究, 唐宋八大家と道教との関係についての研究, 道教における女性観の研究
		教 授	文学修士	川 本 榮三郎	現代普通話(漢語)の成立過程, 魯迅の文体, 中国文章論
		准教授	文学修士	小 島 聡 子	日本語(特に中古・中世の文法)の変遷に関する研究

専攻	教育研究領域	職 位	学 位	氏 名	主 な 研 究 事 項
国 際 文 化 学 専 攻	東アジア文化論	教 授	文学修士	家 井 美千子	平安時代仮名散文の研究, 和歌文学の研究
		教 授	博士(文学)	樋 口 知 志	日本古代社会経済史の研究, 古代出土文字資料の研究, 東北辺境古代・中世史の研究
		教 授	博士(文学)	中 村 安 宏	日本の儒学思想史, 近世における政治と思想・文化との関係
		教 授	文学修士	岡 崎 正 道	日本語教育の方法, 日本事情指導の問題点, 日本の思想の特質
	欧米言語文化論	教 授	博士(文学)	佐 藤 芳 彦	封建王政・絶対王政・立憲王政と「聖職者」身分に関する比較財政史的・国制史的研究, 近代イギリス予算制度成立史研究, イギリス「権限委譲」研究
		教 授	文学修士	齋 藤 博 次	ソール・ペロー研究, アメリカ60年代の「ニュー・ライターの」の研究, 80年代以降のアメリカの文化戦争の研究
		教 授	教育学修士	松 林 城 弘	第2言語習得論, 英語教育論, 機能的統語論
		准教授	文学修士	橋 本 学	生成文法形態論・統語論, 認知言語学, 言語習得理論
		教 授	文学修士	齋 藤 伸 治	日英対照研究, 言語思想史
		教 授	Master of communication	※ファー, アラン	英語教授法, 英米文学
		准教授	Doctor of Philosophy	モルヴィ, パーン	英米文学 (現代米詩), TESOL (英作文教授法)
		准教授	Doctor of Philosophy (Education)	小 林 葉 子	異文化理解, 第二言語コミュニケーション学, 応用言語学
		教 授	文学修士	※海老澤 君 夫	主として18・19世紀のドイツ文化, シラー及びヘルダーリンの作品
		教 授	文学修士	※能 登 恵 一	テキスト言語学, ドイツ語教授法
		教 授	文学修士	山 口 春 樹	中世低地ドイツ語学, 中世北ドイツ・ハンザ史
		教 授	Doktor der Philosophie	大 友 展 也	インタフェレンツ現象の総合的な研究, 「インタフェレンツ言語学」の確立, ドイツにおける新聞発達史の研究
		准教授	Doktor der Philosophie	シュヴァムボルン, フランク	20世紀ドイツ文学とくにローベルト・ヴァルザー及びグレゴール・フォン・レッゾーリの研究
		准教授	文学修士	横 井 雅 明	現代フランス語のテンス・アスペクト, ギヨーム派言語学
		准教授	Doctorat en Lettres Modernes	中 里 まき子	20世紀フランス小説
		准教授	DEA	グラ, アレクサンドル	フランス語教授法, 比較文化
教 授	文学修士	長 野 俊 一	革命的民主主義者の文学・美学理論と実践の研究, 物語論, ユートピア思想の研究		
准教授	博士(文学)	金 子 百合子	現代ロシア語のアスペクト, 語形成論, 日露対照言語学, 複言語主義と外国語教育		

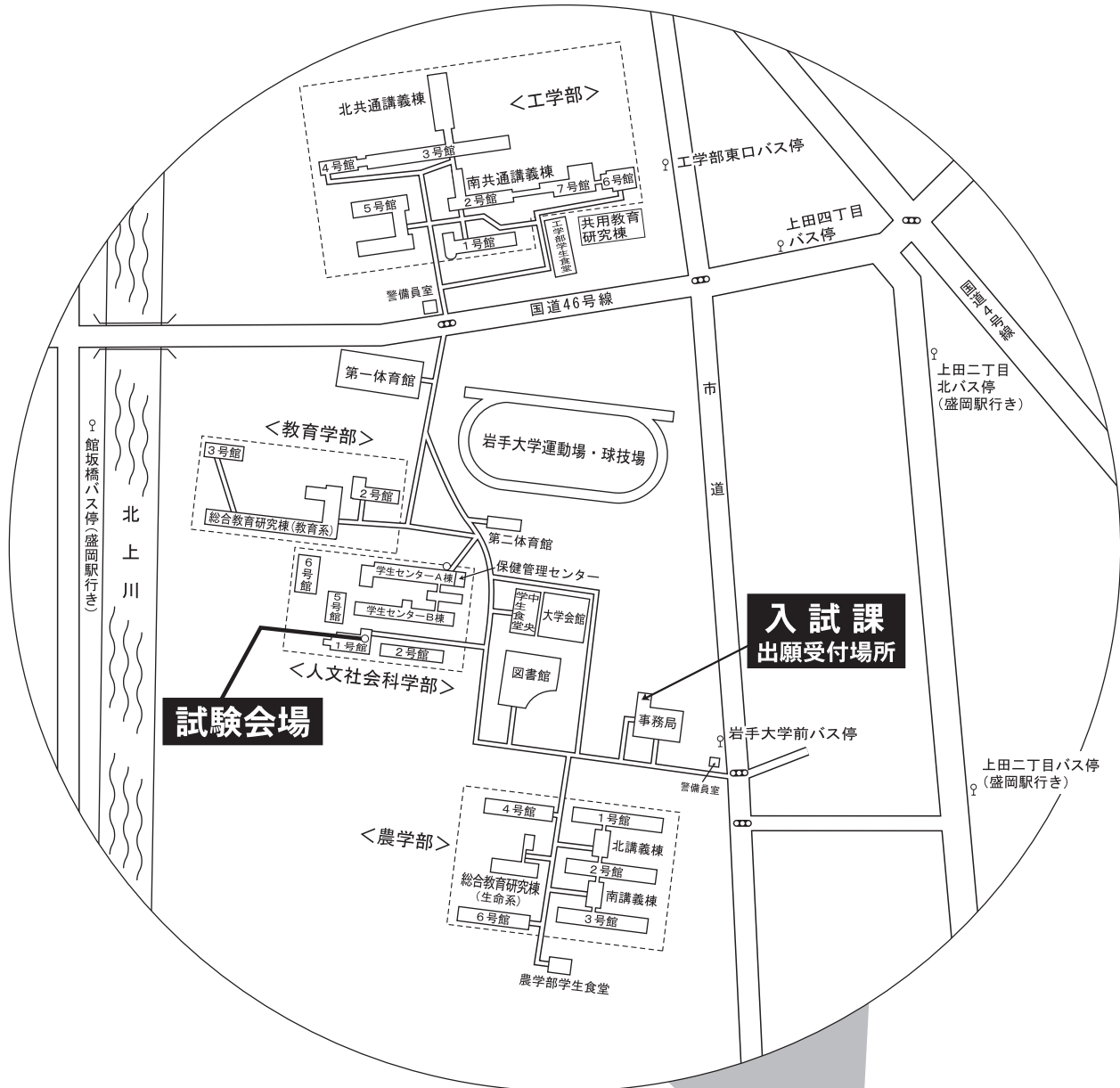
専攻	教育研究領域	職 位	学 位	氏 名	主 な 研 究 事 項	
社 会 ・ 環 境 シ ス テ ム 専 攻	法 学	教 授	法 学 博 士	※高 野 修	行政活動の違法性について、行政組織法研究	
		教 授	法 学 修 士	丸 山 仁	緑の党と新しい社会運動、環境政治、現代ドイツ政治	
		教 授	博 士 (法 学)	内 田 浩	結果的加重犯の研究、因果関係論、責任論	
		教 授	博 士 (法 学)	宮 本 ともみ	婚姻法の研究、日独婚姻法の比較	
		教 授	博 士 (法 学)	松 岡 勝 実	契約法の基礎理論、消費者法、水法	
		准教授	修 士 (法 学)	西 牧 正 義	担保物権法の研究	
		准教授	修 士 (法 学)	江 原 勝 行	集団の人権論、比較違憲審査制論	
		准教授	修 士 (法 学)	深 澤 泰 弘	商取引（特に保険）における法律問題	
		准教授	博 士 (法 学)	藤 本 幸 二	証拠法（特に間接証拠理論）の研究、近世・近代ドイツ刑事法史	
	経 済	経 済	准教授	経 済 学 修 士	杭 田 俊 之	進化経済学、日本経済システム、企業と経済システムの進化理論
			准教授	博 士 (経 済 学)	齊 藤 彰 一	リカードウからマルクスへの経済学説の発展の性質の研究、特に剰余価値論及び労賃論における発展の性質に関する研究
			教 授	博 士 (経 済 学)	菊 池 孝 美	フランスの対外経済関係、欧州統合、現代世界経済
			教 授	博 士 (農 学)	横 山 英 信	日本食糧政策論、地域農業論
			准教授	修 士 (経 済 学)	藤 原 千 沙	社会保障論、労働経済学、社会政策学、福祉国家論
			教 授	経 済 学 修 士	井 上 博 夫	政府間財政関係に関する研究、地域経済と財政、環境政策
			教 授	博 士 (経 営 学)	田 口 典 男	経営管理、人的資源管理の展開、最低賃金と雇用
	環 境 科 学	環 境 科 学	准教授	修 士 (法 学)	古 川 務	生態系管理法制の研究
			准教授	博 士 (経 済 学)	笹 尾 俊 明	廃棄物・リサイクルの経済分析
准教授			修 士 (地域社会システム)	塚 本 善 弘	地域社会における「公共性（公共圏）」論に関する研究、環境運動の資源動員構造と参加者のアイデンティティ変容に関する研究	
教 授			文 学 修 士	開 龍 美	ディープ・エコロジーを中心とする環境思想、「居住」に関わる哲学的人間学	
教 授			理 学 博 士	三 浦 康 秀	関数解析学における作用素環論、作用素論	
教 授			博 士 (理 学)	尾 臺 喜 孝	代数的整数論、ゲーム理論	

専攻	教育研究領域	職 位	学 位	氏 名	主 な 研 究 事 項
社 会 ・ 環 境 シ ス テ ム 専 攻	環 境 科 学	教 授	理 学 博 士	西 崎 滋	微視的模型による原子核構造の研究, 核構造と量子カオス, 高密度核物質の諸性質
		教 授	理 学 博 士	花 見 仁 史	宇宙における構造形成の物理過程の研究, 形態形成とパターン認識, 高エネルギー天体现象の解明
		教 授	理 学 博 士	河 田 裕 樹	光化学反応における初期過程の研究, 光触媒を用いた環境浄化の研究
		教 授	工 学 博 士	北 爪 英 一	高速向流クロマトグラフィー及びプラズマ発光分光分析法による微量分析法の研究
		教 授	理 学 博 士	★吉 村 泰 樹	深度による土壌中アルミニウムの化学種変化及びアルミニウムの細胞膜通過メカニズムの検討
		教 授	理 学 博 士	牧 陽之助	自然環境・人間社会系における動物群集の機能と構造に関する生理生態学的研究, 陸水生物群集の分布と動態に関する生理生態学的研究
		教 授	理 学 博 士	竹 原 明 秀	生態系における自然攪乱と主要構成植物の生活史諸特性との関連, 湿原植生, 天然記念物の保存に関する基礎的研究
	地 域 政 策	教 授	法 学 博 士	※高 野 修	行政活動の違法性について, 行政組織法研究
		教 授	法 学 修 士	丸 山 仁	緑の党と新しい社会運動, 環境政治, 現代ドイツ政治
		教 授	博 士 (法 学)	宮 本 ともみ	婚姻法の研究, 日独婚姻法の比較
		教 授	博 士 (法 学)	松 岡 勝 実	契約法の基礎理論, 消費者法, 水法
		准教授	修 士 (法 学)	西 牧 正 義	担保物権法の研究
		准教授	修 士 (法 学)	深 澤 泰 弘	商取引 (特に保険) における法律問題
		教 授	博 士 (農 学)	横 山 英 信	日本食糧政策論, 地域農業論
		准教授	修 士 (経 済 学)	藤 原 千 沙	社会保障論, 労働経済学, 社会政策学, 福祉国家論
		教 授	経 済 学 修 士	井 上 博 夫	政府間財政関係に関する研究, 地域経済と財政, 環境政策
		准教授	修 士 (法 学)	古 川 務	生態系管理法制の研究
		准教授	博 士 (経 済 学)	笹 尾 俊 明	廃棄物・リサイクルの経済分析
		准教授	修 士 (地 域 社会システム)	塚 本 善 弘	地域社会における「公共性 (公共圏)」論に関する研究, 環境運動の資源動員構造と参加者のアイデンティティ変容に関する研究
		教 授	文 学 修 士	開 龍 美	ディープ・エコロジーを中心とする環境思想, 「居住」に関わる哲学的人間学
教 授	理 学 博 士	牧 陽之助	自然環境・人間社会系における動物群集の機能と構造に関する生理生態学的研究, 陸水生物群集の分布と動態に関する生理生態学的研究		

※印の教員は, 平成24年3月定年により退職となります。

★印の教員は, 平成24年4月から担当する予定です。

試験場への案内



盛岡駅東口バスのりば（11番のりば）から岩手県交通バスの駅上田線「松園バスターミナル行き」に乗車し「岩手大前」で下車、又は駅桜台団地線「桜台団地行き」に乗車し「岩手大前」で下車してください。

- 注1) 盛岡駅から約2km、徒歩約25分
- 注2) タクシー利用の場合
盛岡駅「タクシーのりば」から約10分で、料金は1,000円程度です。
- 注3) 盛岡駅行き(帰り)のバス停については、上記の案内図を参照してください。

